



小山 高正 議員

環境問題について

問 ①SDGs目標達成に向けた取り組みについて②森林の保護活動の状況③森林伐採の現状と今後の対策について伺う。

答（市長） ③面積だけで語らず、古河市の永続的な発展のため、より管理された中で緑を守っていく。

答（企画政策部長） ①昨年9月に古河市SDGs推進宣言を行い、職員への研修や古河ロータ

※加配職員…通常より多く配置する職員のこと

リークラブとの共催で市民への普及活動に取り組んでいる。

答（産業部長） ②森林湖沼環境税を活用した身近なみどり整備推進事業により、間伐等による森林整備を支援している。③過去5年間の森林消失面積は97ヘクタールで、流通業の進出や太陽光発電施設の開発が要因と考える。

コロナ禍における教育の在り方について

問 ①コロナウイルス感染症の濃厚接触者として、自宅待機している児童へのリアルタイム遠隔授業実施の可能性を伺う。

②保育所等での障がい児童受け入れの際の加配職員^(※)の配置状況とその専門性について伺う。

答（教育長） ①学びの保障の必要性について十分認識している。オンラインやテレビ会議システム等を使った授業を公開できるように研究し、実践していきたい。

答（福祉部長） ②4月1日現在、公立保育所で44人の対象児童に対し24人、民間の保育施設等で57人の対象児童に対し、53人の加配職員を配置している。職場内外の研修を受け、相応の実務経験を有する保育士である。



《その他の質問》

・市民生活について



古川 一美 議員

ワクチン接種について

問 ①64歳以下の接種スケジュールは。②効果と副反応などのリスクを十分理解して接種すべきだが、ワクチンの正確で公正な情報は十分周知されているか。③ワクチン接種は個人の自由である。接種しない人が偏見や差別など不利益を受けてはならないが配慮は十分か。④ワクチンで感染が収束するかは未知数である。最良のワクチンは人間が本来もつ免疫力。感染防

止対策と同時に免疫力を高める方法をPRすべきと考えるがいかがか。



答（健康推進部長） ①ワクチン接種は、基礎疾患のある方、64歳以下の方の順に進める。②必要な説明、情報提供は行っている。③ワクチン接種は任意であり、差別が助長されないよう、正しい情報を伝えていく。④ワクチン接種以外にも健康を守るためのPRを積極的に行う。

答（市民部長） ③市ホームページや広報紙、ポスター等で新型コロナウイルス感染症に関する

人権への配慮を啓発している。

アンガーマネジメントについて

問 アンガーマネジメントは相手を理解し怒りの感情をコントロールするための手法である。教育活動、職員研修、一般市民への活用の考えはあるか。

答（市長） 社会を構築する上でとても重要なことだと考えている。さまざまな機会を利用し、職員研修や市民講座等で活用していきたい。

答（教育部長） アンガーマネジメントは、教職員研修に取り入れている。児童生徒には各学校に講師を派遣し、対人スキル学習を行っている。市民には講座等で学習機会を提供している。